



笠栄会

質問者

さかもと しょうへい
坂本亮平 議員

所属議員

せのお ひろゆき
妹尾博之 議員



「これまで」から「これから」の 笠岡市独自計画の策定について問う

議員 新型コロナウイルス感染症の拡大を経験し、今後同様の感染症の拡大を想定した独自計画の策定を検討するのかたずねる。

市長 現時点では新たな計画を策定することは考えていない。

議員 ワクチン接種予約開始時に、協力してくださる市民の方がいた。支援してくださる方と普段から連携できるよう、市独自の計画を作ることとは大切ではないか。

健康福祉部長 大きく捉えれば地域包括ケアシステムの一つであり、大変良いことと捉えている。

議員 公共施設の利用制限について県と市で統一性がない。市民の安心、安全のため統一できないか。

市長 公共施設の利用については市民の声や感染状況など総合的に慎重に判断をする必要性があり、統一的な基準や計画等を策定することは困難である。

議員 6月に県の利用制限に従うとしたが、一部施設を前倒しで利用可能としたのはなぜか。

危機管理部長 感染防止に重点を置きながら、市民の生活、健康面も維持するという方向で決定した。

議員 矛盾している。市民の安心、安全のために利用を制限するのであれば、期限まできちんと止めることが平等であり、安心面においても非常に有効であると考える。

P D C A をしっかりとしながら、次へ繋がる施策に反映してほしい。



創政みらい

質問者

くりお のりこ
栗尾典子 議員

所属議員

あまの きいちろう
天野喜一郎 議員

もりお かさとこ
森岡聡子 議員

にしな ふみひで
仁科文秀 議員

おおつき たかし
大月隆司 議員

くわだ まさあき
桑田昌哲 議員

令和2年度の決算と令和4年度の 予算編成について問う

議員 財政調整基金（令和2年度決算時点約5億2300万円）は必要な時に取り崩すが、災害復旧、財源不足に耐えられるのか。

総務部長 大規模災害では約5億円必要と考える。災害復旧費ゼロで財見通しを立てていたが、今後は一般財源に計上し、財政調整基金を早い段階で10億円にしたい。

議員 事業別審査で事業の統合廃止はできているか。実施計画が不十分なため補正予算が多いのでは。
総務部長 事業の廃止はなかなかできておらず課題である。

政策部長 計画はしっかりと行っているので、分かりやすく伝えられるよう努める。

学校教育及び教育委員会の 基本的方向性について問う

議員 学校規模適正化のための学校再編をやるのか、やらないのか。
教育長 積極的に進めていきたい。

議員 学校規模適正化の中で「離島留学」との整合性はとれるのか。
教育長 フリースクール「育海」はぐくみという新たな存在を踏まえ、市内の不登校児童生徒を支えたい。

議員 教育委員会の積極的な情報公開はできているのか。市長は全面的に教育長に任せているのか。
教育長 来年度からの議事録公開等、改善に向けて取り組んでいる。

市長 全面的に任せている。ただ、教育長ともしっかり話していきたい。

